

# 人生を拓く

61

中田政光さん(83)  
美智子さん(81)  
|| 東町1 ||

政光さんは1902(明治35)年に富山県から東川に入植した祖父母から続く、正信さん(87歳没)とハナエさん(90歳没)の3男4女の長男として生まれた開拓3代目。

開墾当初は大木とヤブが生い茂り、父の時代でも馬で田を耕すときにプラウに木の根が絡みついて大変だったそう。

中卒後、旭川東高校に合格するも、尊敬する父から「体を使って働け」と言われ農家の後継ぎに。それでも勉学の志は捨てられず通信教育を始め、同じ通信で学ぶ先輩の背中を見て頑張ったそうです。農家の傍ら、土建、とび職、造材にも従事しました。約60年前、映画『疾風小僧』(1960年公開)の天人峡ロケでエキストラ出演した際、羽衣荘(当時)の経営者からスカウトされ、春から秋の臨時番頭も務めました。

23歳の時、郵便局に臨時職員として就職働きながら通信教育を受けた経験を活かし、30歳で郵政省の国家試験に合格して正職員に。36歳の時、左半身5カ所を骨折する大事故に遭い、医者からは「もって数日」と言われるほどの重症になるも、驚くべき体力で回復。歩けるようになるまで3年半入院しましたが、父の言葉通り「体を使って働いていたおかげで生き残れた」と振り返ります。



郵便局を57歳で退職した後も身障者協会の会長などを務めました。現在の居住地に越したのは離農した2006(平成18)年。今はハウス1棟を借りて作物の成長を楽しんでいます。

美智子さんは遠藤由松さん(40歳没)とミエさん(63歳没)の4男2女の二女として栗沢町万字(現・岩見沢市)に誕生。2歳のとき父が炭鉱の事故で亡くなり、兄弟と共に母の郷里である秋田に移住。中卒後も和洋裁を習いながら母や兄の小売店を手伝いました。

転機は19歳の時、「生まれ故郷を見たい」と4〜10月の季節労働者として北海道に来たこと。2年後、勤勉に働く姿を見ていた政光さんのいとこ・愛子さんの紹介でお見合いし、秋田にいる半年間の文通で「この人となら苦労したい」と思い結婚。

嫁ぎ先は11大家族の在所帯で、育った環境や風習の違いから苦労もありましたが、姑さんから心から慕われたそう。農業のほか日赤奉仕団も10年間続けました。「夫婦で何度も海外旅行に行ったのが懐かしい思い出」と微笑みまです。料理上手でおすそ分けがご近所から人気です。  
娘2人と孫2人に恵まれたお二人は、人懐っこい猫の桜子ちゃんと一緒に、幸せいっぱいの日々を送っています。

## 俳句

学生街のコインランドリー春の闇

リラ冷えに音静かなり木工場

種浸す失敗できぬ訳ありて

欠け湯飲み母を偲びて柏餅

幼な子のこの手にとまれ花吹雪

春の陽を大きじ一杯おままごと

ジーパンのチャック開いてる目借時

毛たんぽぽ風がくすぐる好奇心

背に棒があるやに起立一年生

若き日のリラ冷えの町忘れまじ

いざ出陣桜の幹の艶めきて

令和なり辛夷ほころぶ岐登牛山

おこりんぼ爆発桜のポップコーン

花冷や姿を見せぬ池の鯉

パンジーが主にかわりお出迎え

若田 郁

佐々木 りえ

本田 咲

齋藤 夕桜

山内 みゆ

八田 昌代

由川 直人

小林 ろぼ

石澤 清宏

杉山 ひろのり

保科 なほ

杉山 りつ

こぼやし 星来

高瀬 潤

三島 智

